

# 編修趣意書

## 教育基本法との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-109	小学校	国語科	国語	第2学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	国語 213 / 国語 214	こくご二上 たんぽぽ / こくご二下 赤とんぼ		

## ▶ 1. 編修の基本方針

# 言葉が広げる、子どもたちの世界

考えるとき、誰かと何かを伝え合うとき、そこには言葉があります。確かで豊かな言葉の力を身につけること。それが、子どもたちが他者と協働しながらよりよく生きていくうえでの支えになります。社会がどのように変化しようとも、言葉の大切さ、言葉のもつ力は変わらない。私たちは、自らの世界を豊かにしていくための言葉の力を子どもたちに育めるよう、この教科書を編修しました。



## 確かな言葉の力を育む

— どんな学習を通して、どんな言葉の力をつけるのかが分かる教科書です。

...

身につけるべき言葉の力を明確にし、子どもたちが主体的に学習に取り組むことができるようにしました。「言葉による見方・考え方」を働かせながら学習に取り組むことで、学びを深め、確かな資質・能力の定着を図ります。



## 自ら学ぼうとする姿勢を育む

— 課題意識・目的意識をもち、意欲的に学習に取り組むことができる教科書です。

...

子どもたちの「やってみたい」「考えてみたい」という意欲を喚起する学習活動を設定するとともに、学習の中で子どもたち自身が気づきを得て、達成感や、学ぶことの楽しさを味わうことができるようにしました。



## 今日の学びを、明日につなぐ

— 国語で学んだことを、他教科や生活にいかす力を育てる教科書です。

...

学んだことを、国語の学習だけに閉じることなく、他教科等や日常生活にいかしていくことで、生きる力につなげるようにしました。また、生涯にわたって読書に親しむ態度や習慣を身につけ、学び続ける主体を育てます。

特色

1

# 確かな言葉の力を育む

— どんな学習を通して、どんな言葉の力をつけるのかが分かる教科書です。



「読むこと」の「がくしゅう」(手引き)

「主体的・対話的で深い学び」を実現します。

「見通しをもとう」自分の課題意識を、学習のめあてにつなげる。

文章・作品を読んだことを、子どもたち自身の学びへとつなぐ「といをもとう」と、学習のめあてや、その学習で身につける力を示した「もくひょう」とを掲げました。

上段：学習課題 学習過程に即して主体的に学ぶ。

学習過程に即して、課題を示しました。一人で、あるいは友達と考え、共有する中で、多様な考えにふれ、自分の考えを深化させることができました。

下段：学習のポイント 学びを深める手立てを確かめる。

上段の課題に取り組むための手立てを示しています。また、「言葉による見方・考え方」を動かせることが意識的にできるよう、「ことば」を取り立てて示しました。

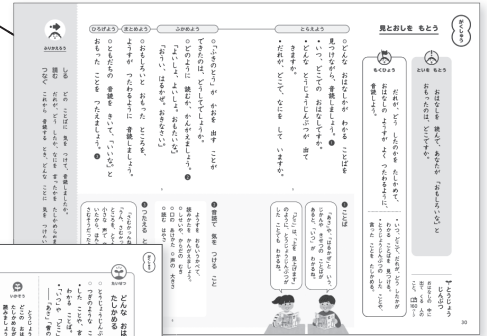
「ふりかえろう」自分の学びを、自分の言葉にする。

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の三つの観点で振り返ることで、自らの学びの自覚化を促します。

「たいせつ・いかそう」身につけた言葉の力を押さえる。

その学習で学んだ言葉の力を汎用的に活用できるようにするための「たいせつ」と、他教科等や日常生活に活用する視点を示した「いかそう」で構成しています。

・全体を上下2段に整理し、学習の流れを明確にすることで、児童が主体的に取り組めるようにしました。



「読むこと」の「がくしゅう」(手引き)



巻頭「こくごの 学びを見わたそう」

学び方と身につける力が見渡せます。

- ・国語学習の進め方と、これまでに学んだ言葉の力、この学年で学ぶ言葉の力を示したページです。
- ・前学年までの言葉の力を振り返り、これからの学習にどうかすかを考えることができます。



2上「こくごの 学びを見わたそう」

特色

2

# 自ら学ぼうとする姿勢を育む

— 課題意識・目的意識をもち、意欲的に学習に取り組むことができる教科書です。



「ことばのじゅんびうんどう」「たのしくかこう」

国語を学ぶことへの期待を高める、楽しい活動です。

ことばのじゅんびうんどう

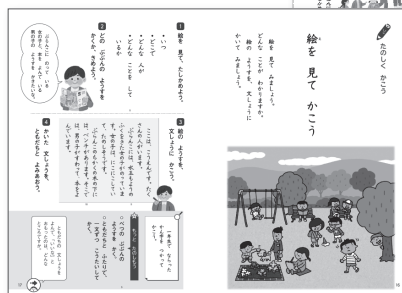
- ・学年初めの緊張する心と体を解きほぐすための教材です。学級全体で対話をしながら、みんなで学ぶことの楽しさを知ることができます。

たのしくかこう

- ・学年の始まりに、「書くこと」と楽しく出会うことで、文章を書くことに対する抵抗感をなくし、今後とも意欲的に書こうとする素地をつくります。



2上「じゅんばんに ならぼう」(ことばのじゅんびうんどう)



2上「絵を見てかこう」(たのしくかこう)

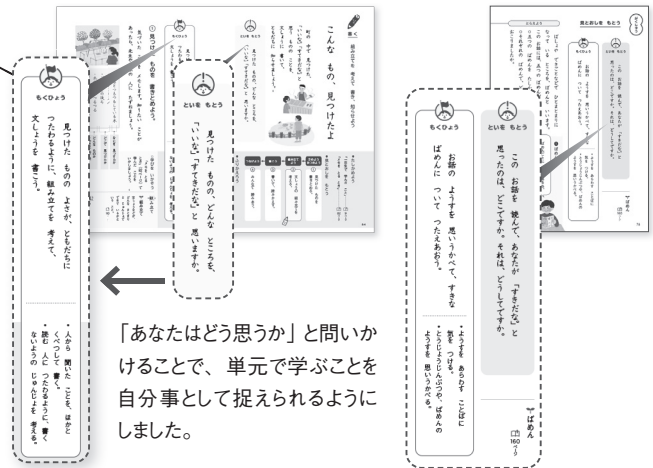
✓ 「といをもとう」「もくひょう」

自分の「問い」がめあてにつながります。

- ・個別最適な学びの充実につながるよう、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の単元冒頭や「読むこと」の手引き冒頭に、「といをもとう」を新設しました。
- ・その単元の話題・題材や学習内容に関連して、これまでを振り返ったり、どんなことをしてみたいかを考えたりすることを通して、子どもの課題意識・目的意識を掘り起こします。それを「もくひょう」につなげることによって、学習に取り組む意欲が高まるようにしました。

「書くこと」冒頭

「読むこと」手引き冒頭



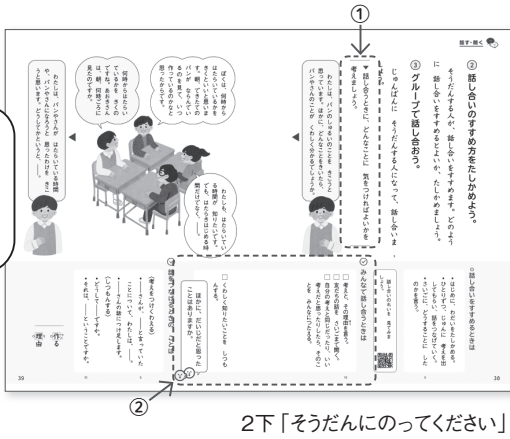
「あなたはどう思うか」と問いかけることで、単元で学ぶことを自分事として捉えられるようになりました。

✓ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」

大事なことは何かを、自分で考えます。

- ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、単元の重点箇所に、子どもに考えることを促す問いかけを▼で示しました(①)。そして、学習のポイントをチェックする欄を設けたり、「ほかに、だいじだと思ったことはありますか。」という呼びかけを添えたりして(②)、ポイントを確認めると同時に、自分にとって大事なことは何かを考えるよう促しました。

単元の重点箇所で、身につける力に関わって、しっかり考えます。



2下「そだんにのってください」

特色

3

今日の学びを、明日につなぐ

— 国語で学んだことを、他教科や生活にいかす力を育てる教科書です。

✓ 「二年生をふりかえって」

自らの成長に気づき、学ぶことの意義を味わいます。

- ・学年末に、その学年の国語学習を振り返って、楽しかったことやがんばったこと、できるようになったことを確かめる場を設けました。
- ・自らの成長を実感することで、次の学年の国語学習への意欲とともに、学んだことを国語以外の学習や日常生活にいかす意識をもたせるようにしました。これらによって、国語を学ぶ意義を自分なりに考えることが期待されます。



2下「二年生をふりかえって」

✓ 「本は友だち」

読書に親しむ習慣や態度を育みます。

- ・年間2か所に、読書単元を設けました。
- ・日常的な図書館利用を促し、読みたい本を見つける方法や知りたいことを知るための方法を身につけるとともに、読みたい本・必要な本を思い描く力を高めます。
- ・また、読書によって生活を豊かにしようという意欲を引き出すことも目指しました。



2上「お気に入りの本をしょうかいしよう」



2上「図書館たんけん」

## ▶ 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所	
上巻	言葉の特徴や使い方	・言葉や漢字に関する教材を通して、言葉の働きや文字・表記の決まりなどを知り、身につけることができます。【第一号】	65-66,81, 122,135, 138-139, 140
	情報の扱い方	・情報に関する特設教材「じゅんじょ」や「メモをとるとき」を通して、情報の関係性について理解したり、情報の整理のしかたを身につけたりすることができます。【第一号】	55, 82-83
	我が国の言語文化	・神話「いなばの白うさぎ」の読み聞かせや、数え歌やいろは歌などを取り上げた「ことばあそびをしよう」を通して、我が国の文化を愛する心を育てるとともに、「きせつのことば」を通して、自然を大切にすることを育てます。【第四号】【第五号】	36-37,62-64, 94-95, 136-137
		・図書館での本の並べ方を探る「図書館たんけん」を通して、図書館の活用のしかたを知り、公共心を育てるとともに、図書館を活用しようとする態度を育てます。【第三号】	33-35, 96-113
	話すこと・聞くこと	・声をかけ合って正しく並ぶ「じゅんばんにならぼう」、絵から条件に合った特定の人物を探す「ともだちはどこかな」、コミュニケーションについて考える「声の出し方に気をつけよう」、対話によって考えを明確にしていく「あったらいいな、こんなもの」、案内のしかたについて考える「ことばでみちあなない」において、友達どうしで交流し、質問をしたり考えや感想を伝えたりすることを通して、自他を尊重する心を育てます。【第三号】	14-15,40-44, 90-93,116-117
	書くこと	・絵から読み取ったことを文章に書く「絵を見てかこう」、日常の出来事を日記に書く「日記を書こう」、身近な動植物の観察記録を書く「かんざつ名人になろう」を通して、自己を認める心や、自主・自律の精神を育みます。【第二号】	16-17,38-39, 56-61,84-89, 120-121
		・町の中で見つけたものを紹介する文章を書く「こんなもの、見つけたよ」で、書いたものを友達と読み合う活動を通して、他者を尊重する心を育てます。【第三号】	
		・「書いたら、見直そう」を通して、文章の推敲のしかたに関する知識を身につけます。【第一号】	
読むこと（説明的な文章）	・たんぼの生態に関する「たんぼのちえ」や、獣医の仕事について説明した「どうぶつ園のじゅうい」を読むことを通して、さまざまな知識にふれるとともに、「職業」にふれることで社会の形成に参画する態度を育てます。【第一号】【第三号】	45-54, 118-119, 123-134	
読むこと（文学的な文章）	・春の訪れを待つ自然の様子を描いた「ふきのとう」や、雨が降るときの様子をうたった詩「雨のうた」を読むことを通して、生命を尊び、自然を大切にすることを育てます。【第四号】	19-32, 67-80, 114-115	
	・小さな魚の勇気や協力を描いた物語「スマー」を読むことを通して、豊かな情操を育むとともに、自他の敬愛と協力を重んずる心を育てます。【第一号】【第三号】		
付録	・本編の学習と関連して扱うことができる内容を用意し、自主的な学習にも役立てられるようにしました。【第一号】	141-164	
下巻	言葉の特徴や使い方	・言葉や漢字に関する教材を通して、言葉の働きや文字・表記の決まりなどを知り、身につけることができます。また、言葉に関する特設単元「ようすをあらわすことば」を通して、様子を表すときのさまざまな表現方法を知り、適切に言葉を活用しようとする態度を育てます。【第一号】	29-30,31-33, 52-53,56, 84-85,98-101, 104-105,131
	情報の扱い方	・説明文「紙コップ花火の作り方」や、書くこと教材「おもちゃの作り方をせつめいしよう」を通して、事柄の順序に気をつけて読んだり書いたりし、論理的に考える力を育てます。【第一号】	41-51
	我が国の言語文化	・民話「せかい一の話」の読み聞かせや、回文などを取り上げた「ことばを楽しもう」を通して、我が国や郷土の文化を愛する心を育てるとともに、「きせつのことば」を通して、自然を大切にすることを育てます。【第四号】【第五号】	34-35,54-55, 80-81,86
	話すこと・聞くこと	・互いの相談を聞き、解決策を見いだす「そうだんにのってください」や、1年間の思い出を振り返って紹介する「楽しかったよ、二年生」を通して、自他を尊重する心を育てるとともに、自律の精神を育みます。【第二号】	36-40, 132-135
	書くこと	・手順に気をつけて書く「おもちゃの作り方をせつめいしよう」、友達に手紙を書く「すてきなところをつたえよう」を通して、他者への思いやりの心を育みます。【第二号】	48-51,74-79, 102-103, 106-110, 136
		・物語の創作「お話のさくしゃになろう」、詩の創作「見たこと、かんじたこと」を通して、豊かな情操を育むとともに、創造性を培います。【第一号】【第二号】	
		・「二年生をふりがえて」に取り組むことを通して、自らの1年間の成長を実感できるようにしました。【第一号】【第二号】	
	読むこと（説明的な文章）	・おもちゃの作り方の手順を説明した「紙コップ花火の作り方」を読むことを通して、創造性を育みます。【第二号】	41-47, 87-97
	・実用化が進んでいるロボットについて説明した「ロボット」を読むことを通して、創造性を育むとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養います。【第二号】【第三号】		
読むこと（文学的な文章）	・二人の人物の友情を描いた「お手紙」や、不思議なものに出会った少女の心の動きを描いた「みきのたからもの」を読むことを通して、想像力や他者を思いやる心、自律の精神を育てます。【第一号】【第二号】【第三号】	13-28, 57-73, 82-83, 111-130	
	・詩「ねこのこ/おとのはなびら/はんたいことば」を読むことを通して、豊かな情操を育みます。【第一号】		
	・少年と馬の交流を描いた「スーホの白い馬」を読むことを通して、生命を尊ぶ態度を育てます。【第四号】		
付録	・本編の学習と関連して扱うことができる内容を用意し、自主的な学習にも役立てられるようにしました。【第一号】	137-168	

### ▶ 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

作家へのインタビュー  
(2下「みぎのたからもの」)



#### 学習上の参考に供するための資料

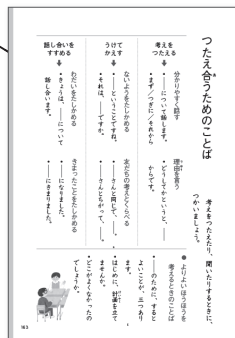
- ・教科書の中で、「二次元コード (QR コード)」が示された箇所には、発表や話し合いなどの動画資料、作家へのインタビューなど、児童の興味・関心を高めたり、学習を深めたりすることができる資料を豊富に収めました。
- ・教科書の裏表紙に付した二次元コードには、ICT 機器の活用の際に留意することのほか、感染症対策、防災、SDGs、外国人児童等のための学校で使う日本語等に關するコンテンツを用意し、学校生活や学習に資するようにはしました。



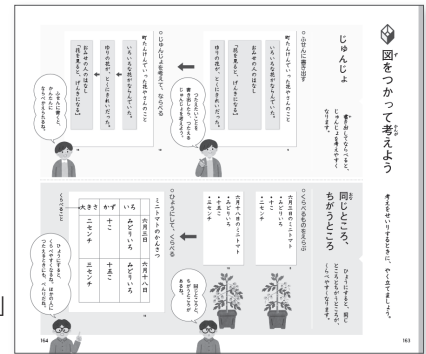
話し合いの様子  
(2下「そだんにのってください」)

#### 語彙や思考を広げていくための工夫

- ・巻末付録に、思考や表現の助けとなる語彙を、「つたえ合うためのことば」「ことばのたからばこ」として提示するとともに、国語学習でよく使われる言葉を、「がくしゅうに用いることば」として整理しました。
- ・また、2年以上の巻末に「図をつかって考えよう」を設け、思考ツールと思考を表す表現をまとめました。考えを深め、表現する手がかりになります。



2下「つたえ合うためのことば」



2上「図をつかって考えよう」

#### 全ての児童に使いやすく、分かりやすく。

##### 特別支援教育への配慮

- ・ユニバーサルデザイン・カラーユニバーサルデザインの観点から、全ての児童に使いやすい教科書を目指しました。教科書の全ページについて、専門家の校閲を受けています。
- ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」および「読むこと」手引きは、上段と下段の性格づけを明確にし、どこを、どう読み、何が大切なのかが直感的に分かる紙面レイアウトとしました。

##### 色覚特性への配慮

- ・学習上、複数の情報の識別が必要な図版については、色の組み合わせや色調に配慮しました。また、色だけでなく、形でも区別できるようにするとともに、文字と写真、写真と写真との区別が明確になるように配慮しました。

##### 書体に関する配慮

- ・本文には、教科書のために特にデザインした自社作成の教科書体を用いています。この書体は、読みやすいだけでなく、書き文字に近いため、子どもたちに正しい字形を意識させることができます。
- ・文字の形を意識して読み、物事を理解する部分が多い低学年では、書体を通常より太くした教科書体を使用し、見やすさを重視しました。
- ・見出しなどの着目させたい箇所や、図書紹介などの文字の小さな箇所などには、UD 書体を使用しています。

##### 人権上の配慮

- ・教科書全般にわたって、教材や挿絵に登場する人物に、性別等による偏りがないようにしました。また、人種・身体的特徴などについても、多様性に意を用いました。

# 編修趣意書

## 学習指導要領との対照表、配当授業時数表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-109	小学校	国語科	国語	第2学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	国語 213 / 国語 214	こくご二上 たんぽぽ / こくご二下 赤とんぼ		

## ▶ 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### 特色 1 確かな言葉の力を育む

— どんな学習を通して、どんな言葉の力をつけるのかが分かる教科書です。

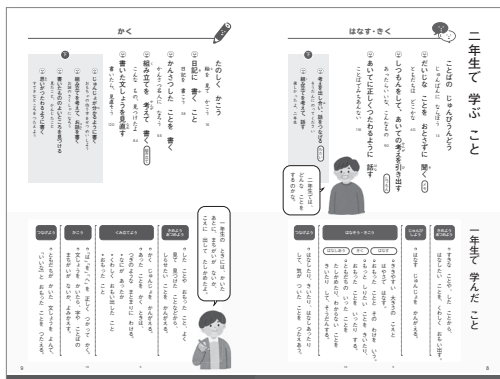
#### ✓ 巻頭ブックインブック「こくごの学びを見わたそう」

### 国語をなぜ学ぶのかを考え、何をどう学んでいくのかを確かめる。

- ・「主体的・対話的で深い学び」をどう進めていくかを視覚的に示した「どう やって 学んで いくのかな」と、領域別に学習内容を整理した「二年生で 学ぶ こと」「一年生で 学んだ こと」で構成しています。冒頭のページには、学年の発達段階に応じて、国語を学ぶ意義を考えられるようなリード文を添えました。
- ・国語学習開きで確かめるだけでなく、折にふれていつでも立ち戻りやすくするために、他のページより横幅を少し短くした、ブックインブックの形式にしています。

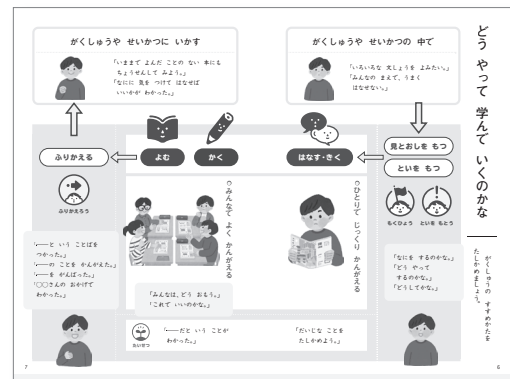
#### こくごの学びを見わたそう

- ・冒頭のページでは、1年間、ともに学んでいくことになる4人の子どものイラストとあわせて、国語を学ぶ意義や呼びかけを提示しています。各教室での学習開きに活用できるようにしました。



#### 二年生で学ぶこと / 一年生で学んだこと

- ・上段は、各単元の「たいせつ」を提示し、下段は、1年生の学習内容を、学習過程ごとに整理しています。



#### どうやって学んでいくのかな

- ・学習や生活場面と言葉との関わりを見つめることから学びがスタートします。協働と個の学びの両方を大事にしています。

## 「思考力、判断力、表現力等」の単元

問いをもって学び、自分の言葉で学びを振り返ることができる、主体的な学び手を育てます。



### 「話すこと・聞くこと」単元

#### 日常生活にいける対話の力を育む

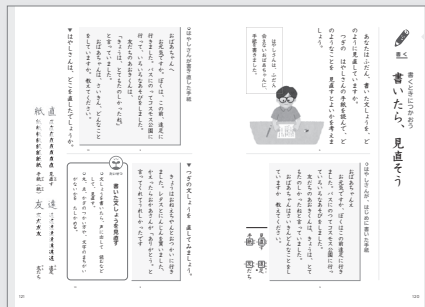
- ・子どもが、自然と「話したくなる」「聞きたくなる」話題と活動を、バランスよく系統的に配置しています。
- ・主たる学習機会は年間6か所で、「言葉の準備運動（アイズブレイク）」「耳を傾ける（受けて返す・聞く）」「対話の練習」「話し合う」「声を届ける（話す）」それぞれの学習に重点的に取り組めるよう工夫しています。
- ・単元冒頭に、学習の流れや重点を確かめる「見通しをもとう」、単元末に、自己評価の観点である「ふりかえろう」を置き、主体的に学習に取り組めるようにしました。
- ・二次元コードのコンテンツとして、モデル動画をはじめ、聞き取るための音声動画資料も用意しました。



2上「ともだちは どこかな」



### 「書くこと」単元



2上「書いたら、見直そう」(書くときにつかおう)

#### 書く力の積み重ねを感じられるように

- ・子どもたちの発達段階、習熟度、必然性を考慮して、多彩な文種・言語活動を系統的にバランスよく配置しています。
- ・主たる学習機会は年間9か所で、日記、観察記録、報告などの学習に重点的に取り組めるよう工夫しています。情報の扱い方に関する特設教材「じょうほう」と合わせて、論理的に書く力を育てます。また、苦手意識をもたせないよう、学年初めに「たのしく かこう」を新設し、書くことを通じて友達とつながり、自己肯定感をもてるよう配慮しました。
- ・学習の積み重ねを実感できるよう、指導事項を焦点化した小単元「書くときにつかおう」を新設し、他の単元でいかせるようにしました。
- ・取り組みやすいよう、紙面構成は「話すこと・聞くこと」と共通です。



### 「読むこと」単元

#### 読みたい思いをいかす、新しい「がくしゅう」(手引き)

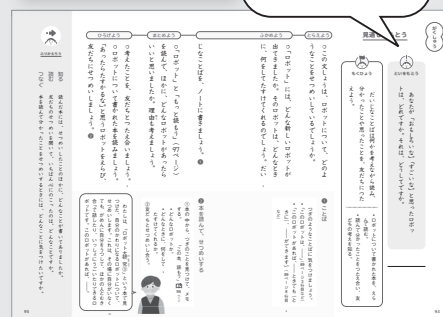
- ・単元扉により、子どもたちの「読みたい」という思いを引き出し、目的をもって学習に臨めるようにしました。
- ・「がくしゅう」(手引き)で設定した課題(上段)は、学習過程を意識して学ぶことで確実な定着を旨としています。下段では、言葉に着目して深く学ぶための「ことば」や、対話的な学習のポイントを明示する二段組構造です。

#### 質の高い「読むこと」教材

- ・文学的な文章は、長く掲載されている名作に加え、現代的なテーマをもつ書きおろし作品など、今読む価値のある作品を配置しています。下巻文学第一単元では、学んだことをいかせるよう、関連作品を巻末に収録しています。
- ・説明的な文章は、現代社会を生きる子どもたちにふさわしい題材を選び、論理的思考のモデルとなる文章を位置づけました。
- ・人権教育にも十分配慮し、豊かな読書生活にもつながるよう、多様な文章・作品を偏りなく選びました。
- ・絵や写真と文章を対応させて読んだり、表などを活用して考えを形成したりする学習ができるよう工夫しています。



「といをもとう」が、子どもの思いを学習につなぎます。



2下「ロボット」(単元扉・がくしゅう)

特色

2

## 自ら学ぼうとする姿勢を育む

—— 課題意識・目的意識をもち、意欲的に学習に取り組むことができる教科書です。



### 個別最適な言葉の学び

一人一人の思いと言葉に寄り添って。

#### 「といをもとう」

- ・ 3領域だけでなく、「ことば」の教材にも「といをもとう」を設定。日常の中で、どのように言葉と向き合っているかを問いかけることで、一人一人の中に問いが生まれるようになりました。

#### 巻末折り込み「ことばのたからばこ」「図をつけて考えよう」

- ・ 思いや考えを整理し交流する、さまざまな場面で活用できる資料です。いつでも自分で選んで使えるようにしています。



### 言葉への興味の喚起 エラーモデルにも学ぶ。

#### 特設単元「ことばについて考えよう」

- ・ 言葉を学んでいるキャラクター「ロボロボ」が、数々の失敗を通じて成長していきます。「ロボロボ」とともに、そのときどきう言えばよかったのかを考えていく単元です。



2上「図をつけて考えよう」

2上「ことばのたからばこ」



2下「ようすをあらわすことば」

特色

3

## 今日の学びを、明日につなぐ

—— 国語で学んだことを、他教科や生活にいかす力を育てる教科書です。



### 他教科連携 各教科の学習等にいかす視点を。

#### 「いかそう」

- ・ 3領域の単元末や「ことば」の教材の末尾に、「いかそう」を設け、学んだことを他教科等の学習や日常生活、読書生活の場面で活用できることを示しています。

#### 「本のせかいを広げよう」

- ・ SDGsの観点からもバランスよく選書した紹介図書のページです。子どもの関心の多様性にも配慮しながら、各教科等の学習に活用できる本も多数揃えました。



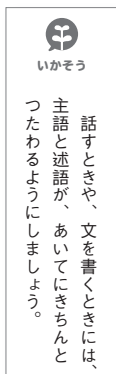
### 学年末のふりかえり 自分の成長の実感を。

#### 目標を書く欄

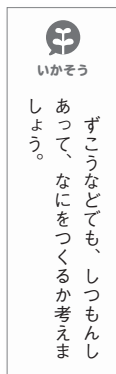
- ・ 「こくごの学びを見わたそう」(2上)の末尾に設けた、2年生の国語の学習で、できるようになりたいことや、楽しみなことを書き込む欄です。言葉の学びに対して、自覚的に取り組む第一歩です。

#### 「二年生をふりかえって」

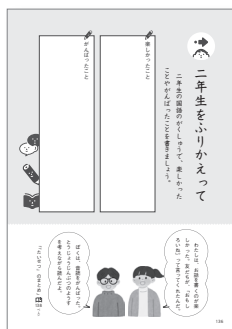
- ・ 巻末資料「『たいせつ』のまとめ」や、4月に書いた自分の目標を確認するなどして、1年間で身につけた力を確認し、自分の成長を書いて実感できるようにした、学年のまとめの教材です。



2下「主語と述語に気をつけよう」



2上「あつらいいな、こんなもの」



2下「2年生をふりかえって」



目標を書く欄(2上)



編集上の留意点	
1 教育基本法・学習指導要領への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆教育基本法や学校教育法の理念を踏まえ、特に次の点に意を用いました。               <ul style="list-style-type: none"> <li>①国語力及び学習の基盤的能力の育成、②コミュニケーション能力の育成、③豊かな心の育成、④情報社会を生き抜く力の育成、⑤社会の変化に対応する能力の育成</li> </ul> </li> <li>◆学習指導要領の方向性に対応し、特に次の点を工夫し配慮しました。               <ul style="list-style-type: none"> <li>①基礎的・基本的な知識・技能と活用力を身につける、②論理的に思考し、判断し、表現する能力を養う、③豊かな情操と道徳心を養う、④伝統的な言語文化を尊重し、国語と郷土を愛する心を育成する、⑤個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、自主・自立の精神を養う、⑥読書に親しみ、生涯にわたって充実した読書生活を送るための基礎を養う、⑦社会の形成者たる児童を育成する</li> </ul> </li> </ul>
2 内容と系統	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学習指導要領の各学年の目標及び内容がもれなく指導できるよう、また、言語活動例がそれぞれの段階で扱えるように教材を選定・作成しています。</li> <li>◆各単元・教材のねらいを明確にし、基礎的・基本的な内容が着実に身につけられるよう、学年内・学年間を見通して系統的に位置づけています。</li> <li>◆児童の資質・能力の育成のために、教科横断的な関連を図るとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、カリキュラム・マネジメントに資する内容構成の工夫をしています。</li> </ul>
3 配分・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆教科書全体を「単元」「コラム」「特設単元」で構成し、「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」とを適切に組み合わせ、言葉の力を着実に身につけられるようにしています。</li> <li>◆学年の発達段階と学習の持続性を考慮し、単元数に配慮して構成しています。</li> <li>◆3学期制、2学期制のどちらにも対応するよう、単元・教材数・領域のバランスを工夫しています。</li> <li>◆各学年巻末に、本単元の補充学習・発展学習に資するよう、資料となる教材を掲載しています。</li> </ul>
4 教材の選定	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各学年を通じて、発達段階を考慮するとともに、児童の学習意欲を喚起すること、また、社会の形成者としての児童を育成するよう、その道徳的心情や道徳的判断力が育つことに配慮して、内容・題材を選定しています。</li> <li>【入門期】(1年)           <ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園・保育所から小学校への円滑な連携を図れるよう配慮し、児童が学校生活に慣れるとともに、学習意欲を大事にすることを考えて教材を選定しました。</li> <li>【話すこと・聞くこと】               <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の日常生活、学校生活、学習場面に取材し、「話す・聞く・話し合う」ことの意義が感じられるように、発達段階に即して題材を選んでいます。また、学習活動からその後の振り返りの場に至るまで、意図的・計画的に設定しています。</li> <li>【書くこと】                   <ul style="list-style-type: none"> <li>相手と目的の明確な話題・題材と児童がイメージしやすい場を設定することで、書く必要性和必然性を感じ、書く意欲が喚起されるよう工夫しています。また、取材から記述までの表現過程とその後の交流までを具体的に図示するなど、分かりやすく示しています。</li> <li>【読むこと】                       <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の言語環境と発達段階に応じて、言葉の美しさが感得できる教材、家族や友人など他者への思いやりを育てる教材、他教科の内容に関連する教材、ものの見方・考え方を広げたり深めたりできる教材などを幅広く選定しています。</li> <li>【言葉の特徴や使い方に関する事項】                           <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の言語生活や既習教材から素材を取り上げ、学習活動を通して言語や漢字についての知識を楽しく身につけるとともに、言葉に対する興味・関心が深まるよう、教材化を工夫しています。また、各学年に言葉そのものを対象化して考える教材を位置づけ、児童が言葉の自覚的な使い手として育つよう配慮しています。</li> <li>【情報の扱い方に関する事項】                           <ul style="list-style-type: none"> <li>話や文章に含まれている情報を取り出して整理したり、その関係を捉えたりする能力を身につけられるよう、情報の扱い方に特化した教材「情報」を設けました。</li> <li>【我が国の言語文化に関する事項】                           <ul style="list-style-type: none"> <li>先人の遺産としての言語作品を多く取り上げ、生涯の宝として身につけられるようにしました。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li></ul></li></ul></li></ul>
5 地域性への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆話題・題材は、農山漁村・都市などの地域的な偏りを避けるとともに、国際的視野が育つように、バランスの取れた構成になっています。</li> <li>◆1年下巻以降は、複式学級での使用を見据え、前後の学年である程度学習時期を揃えられるように、単元構成上の配慮をしています。</li> </ul>
6 他教科等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆カリキュラム・マネジメントの観点から、他教科などとの関連を図れるように、話題・題材の選定において工夫しています。</li> <li>【生活】1・2年の「話すこと・聞くこと」「書くこと」の題材、「きせつのことば」(2年)</li> <li>【図画工作】「おもちゃの作り方をせつめいしよう」(2年下) など</li> <li>◆学習活動面においても、他教科の学習で活用できるよう配慮しています。観察記録表を書く(2年上) など</li> </ul>
7 情報活用・ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「二次元コード」が示してある場所には、児童が学習を進めるうえで参考となり、さらに興味・関心をもって学べる資料を取っています。</li> <li>◆特に3年以上では、写真を使って報告文を書いたり、スピーチの練習を撮影したりする学習活動を取り入れるなど、必然性をもってICT機器を活用してその活用能力を育めるよう配慮しています。</li> </ul>
8 文字提出・表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆1年では、6月中旬までに平仮名を全て提出し、夏休み前までは習熟を図る期間(「平仮名習得期」として)としています。漢字・片仮名は9月から提出することで、無理なく学習できるよう配慮しています。</li> <li>◆漢字学習は、言葉の学習であると捉え、前学年漢字及び各学年配当漢字を全て本文中に提出しています。</li> <li>◆新出漢字は当該ページ欄外に語として抽出し、読みの負担を軽減しています。また、1教材での提出数を制限し、過重な負担とならないよう配慮しています。</li> <li>◆文中に平仮名が多い2年までは、分ち書きを採用しています。ただし、第2学年中に徐々に通常の文章に読み慣れるよう、「文節による分ち書き—2・3文節まとめた分ち書き—通常の分ちのない書き方」へと段階的に移行しています。</li> </ul>
9 挿絵・写真・図・グラフなど	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学習内容の理解を助け、児童のイメージを豊かに広げる挿絵・写真を適所に掲げています。また、点字見本のページ(5年)のように、実際に触れて参考にする資料も設けています。</li> <li>◆「話す・聞く」「書く」教材や、「読む」教材の手引きなどに、種々の表やマップを配したほか、巻末折り込み付録「図を使って考えよう」(2年上以降)を設け、児童が考えを形成したりまとめるための技法として活用できるように工夫しています。</li> <li>◆非連続型テキストの読み取りの学習について、身近な看板や表示などを読み比べて情報を確認する教材を設けました。(2年上「みの回りのものを读もう」)</li> </ul>
10 製本・印刷・活字など	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆製本は堅牢で、印刷は鮮明で読みやすく、特に、色覚特性に対応するために、支援を必要とする児童が判別しやすい配色・色調に配慮しています。</li> <li>◆原料や製法についても、十分に配慮しました。環境に負荷の少ない用紙、植物油インキを用いています。</li> <li>◆本文には、教科書のために特にデザインした自作作成の教科書体を用いています。読みやすいだけでなく、書き文字に近いため、正しい字形を意識させることができ、文字指導に効果的です。</li> <li>◆特に1・2年では、字形を追って一字一字を確かめながら学習を進める段階であることに配慮し、通常よりも太く読みやすい書体を使用しています。</li> <li>◆巻末付録の「[たいせつ]のまとめ」(1年下以降)、「本の世界を広げよう」[学習に用いる言葉」(2年上以降)では、教科書体に対応した読みやすいユニバーサルデザイン書体を使用しています。</li> </ul>
11 特別支援教育への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学習上支援が必要な児童のために、またユニバーサルデザインという観点から、特に以下の点に配慮しています。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報のまとまりが認識しやすいように、用語解説や覚えておきたい知識などはマークを付けて示す。</li> <li>・写真と写真の間を空けたり、線で囲んだりして、境界を明確に区別できるようにする。(2年下「紙コップ花火の作り方」など)</li> <li>・色覚特性に配慮して、色による識別に頼ることなく、形で識別できるように作成する。また、色を問いとる学習活動を設定しない。説明の際は、色以外の情報も含めて示すなど教材化を図る。(2年上「もたちはどこかな」)</li> </ul> </li> </ul>
12 幼稚園・保育所との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学校生活への不安をなくし、明るくスタートできるように、1年の第一教材においては、児童が友達や先生と交流する場面を取り上げました。続く、「さあはじめよう」には、幼稚園・保育所等での体験をいかしながら、小学校での学びの基本的な姿勢作りを行う教材を位置づけています。</li> </ul>
13 その他の配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>【言語活動】           <ul style="list-style-type: none"> <li>つたい力(指導事項)と言語活動を単元冒頭に掲げて、児童が目的をもって学習に臨めるようにし、習得と活用とが滑らかに行えるよう課題を設定するとともに、ここにつけた力や考えたことが他教科や日常生活でいかせるよう配慮しました。</li> <li>【学習過程の重視】               <ul style="list-style-type: none"> <li>「思考力、判断力、表現力等」の各領域において、学習過程を明確にした教材を設定しました。また、学習過程の中で、自分の考えを形成し、それを他者と共有することを重視しました。</li> <li>【読書】読書に対する意欲を高め、読書の幅を広げ、読書を通して思考力や想像力を養うことを目指して、次のような工夫をしています。                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・特設単元「本は友達」に、多様なジャンルの作品を位置づけました。</li> <li>・各「読むこと」単元の手引き及び各巻末に、学年に適した本の紹介をまとめて、表紙写真とともに提示しました。</li> <li>・紹介する本は、人権教育の観点からも吟味し、選定しました。</li> </ul> </li> <li>【語彙を豊かに】                   <ul style="list-style-type: none"> <li>2年以上の各学年4か所に「季節の言葉」を設け、日本人の季節感を育んできたさまざまな伝統行事や風物などを言葉とともに取り上げると同時に、それらを題材にした韻文に触れることで言語感覚を豊かに育成する工夫をしています。</li> </ul> </li> <li>【多様性・今日的課題への対応】                   <ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育やカラーユニバーサルデザインの観点のほか、学習のユニバーサルデザイン、防災教育、外国人児童生徒等教育、人権教育などの観点から教科書全体の校閲を受け、それぞれ配慮を施しています。また、SDGsの観点から、紹介図書や学習の題材等をバランスよく取り上げています。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li></ul>

## ▶ 2. 対照表

[ 第2学年 ]

図書の内容・構成	学習指導要領の内容					該当箇所	配当時間
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			取り上げる題材についての観点		
		A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと			
じゅんばんに ならぼう	(1) ア	(1) エ			(イ) 伝え合う力	14-15	1
絵を見て かこう	(1) エ		(1) ア・オ		(ア) 国語に対する関心 (イ) 伝え合う力	16-17	1
ふきのとう	(1) オ・ク			(1) イ (2) イ	(イ) 想像力 (キ) 自然を愛する心	19-32	9
図書館たんけん	(3) エ				(ア) 国語に対する関心	33-35	1
春が いっぱい	(1) ア・オ		(1) ア (2) ア		(キ) 自然を愛する心	36-37	2
日記を書こう	(1) ア		(1) ア (2) イ		(イ) 生活を明るくする意志	38-39	4
ともたちは どこかな [コラム] 声の出し方に 気をつけよう	(2) ア	(1) エ (2) ア			(イ) 伝え合う力 (ウ) 適切に判断する能力や態度	40-44	5
たんぼほの ちえ [じょうほう] じゅんじょ	(1) ク (2) ア			(1) ア・ウ (2) ア	(工) 科学的、論理的に物事を捉える力 (キ) 自然を愛する心	45-55	10
かんざつ名人に ならう	(1) オ		(1) ア (2) ア		(イ) 自然を愛する心	56-61	10
いなばの 白うさぎ	(3) ア				(ケ) 日本人としての自覚	62-64	2
同じ ぶぶんをもつ かん字	(1) エ				(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	65-66	2
スイミー	(1) オ			(1) イ・エ (2) イ	(ウ) 強く正しく生きる意志	67-80	9
かん字の ひろば①	(1) ウ・エ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心	81	2
[じょうほう] メモをとる とき	(1) ア		(1) ア		(ウ) 適切に判断する能力	82-83	3
こんな もの、見つけたよ [コラム] 丸、点、かぎ	(1) ウ		(1) イ (2) ア		(イ) 伝え合う力 (ウ) 適切に判断する能力や態度	84-89	10
あつたらいいな、こんなもの	(1) オ	(1) ア・エ (2) ア			(イ) 想像力 (オ) 生活を明るくする意志	90-93	7
夏が いっぱい	(1) ア・オ		(1) ア (2) ア		(キ) 自然を愛する心	94-95	2
お気に入りの本をしょうかいしよう ミリーのすてきなぼうし	(3) エ			(1) カ (2) イ	(イ) 想像力 (オ) 生活を明るくする意志	96-113	6
雨のうた	(1) ク			(1) カ (2) イ	(イ) 想像力、言語感覚	114-115	2
ことばでみかんない	(2) ア	(1) イ・エ (2) ア			(イ) 思考力 (ウ) 適切に判断する能力	116-117	3
みの回りのものを読もう	(1) ア			(1) ウ・オ (2) ア	(ア) 国語に対する関心	118-119	2
書いたら、見直そう	(1) ウ		(1) エ		(ウ) 適切に判断する能力や態度	120-121	2
かん字のひろば②	(1) エ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心	122	2
どうぶつ園のじゅうい	(1) カ (2) ア			(1) ア・オ・カ (2) ア	(工) 視野を広げる (カ) 生命の尊重	123-134	10
かたかなのひろば	(1) ウ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心	135	2
ことばあそびをしよう	(3) イ				(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	136-137	2
なかまのことばとかん字	(1) エ・オ				(ア) 国語に対する関心	138-139	2
かん字のひろば③	(1) ウ・エ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心	140	2
お手紙	(1) オ・カ			(1) エ・オ (2) イ	(カ) 他人を思いやる心	13-28	12
主語と述語に 気をつけよう	(1) カ				(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	29-30	2
かん字の読み方	(1) エ				(ア) 国語に対する関心	31-33	2
秋が いっぱい	(1) ア・オ		(1) ア (2) ア		(キ) 自然を愛する心	34-35	2
そうだんにのってください	(2) ア	(1) ア・オ (2) イ			(カ) 他人を思いやる心	36-40	8
紙コップ花火の作り方 おもちゃの作り方をせつめいしよう	(1) オ (2) ア		(1) ウ (2) ア	(1) ア・ウ (2) ア	(工) 論理的に物事を捉える力 (オ) 生活を明るくする意志	41-51	14
にたいみのことば、はんたいの いみのことば	(1) オ				(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	52-53	2
せかいーの話	(3) ア			(1) オ (2) イ	(ク) 我が国の文化に対する理解と愛情	54-55	1
かん字のひろば④	(1) エ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心	56	2
みきのたからもの	(1) カ (3) エ			(1) イ・エ (2) イ	(イ) 想像力 (オ) 強く正しく生きる意志	57-73	10
お話のさくしゃになろう	(1) カ		(1) イ (2) ウ		(イ) 想像力	74-79	10
冬が いっぱい	(1) ア・オ		(1) ア (2) ア		(キ) 自然を愛する心	80-81	2
ねこのこ／おとのはなひら／ はんたいことば	(1) ク			(1) カ (2) イ	(イ) 想像力、言語感覚	82-83	2
かたかなで書くことば	(1) ウ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心	84-85	2
ことばを楽しもう	(3) イ				(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	86	1
ロボット	(3) エ			(1) ウ・カ (2) ウ	(工) 科学的、論理的に物事を捉える力	87-97	12
ようすをあらわすことば	(1) ア・オ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	98-101	4
見たこと、かんじたこと	(1) オ		(1) オ (2) ウ		(イ) 言語感覚	102-103	6
カンジーはかせの犬はつめい	(1) エ				(ア) 国語に対する関心	104-105	2
すてきなところをつたえよう	(1) キ		(1) ウ (2) イ		(オ) 生活を明るくする意志	106-110	10
スーホの白い馬	(1) オ (2) ア			(1) エ・カ (2) イ	(カ) 生命の尊重 (コ) 世界の風土の理解	111-130	14
かん字の広場⑤	(1) エ・カ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心	131	2
楽しかったよ、二年生	(1) イ・キ	(1) ア・イ・ウ (2) ア			(オ) 生活を明るくする意志	132-135	8
二年生をふりかえって	(1) ア		(1) ア		(ア) 国語に対する関心	136	1
					合計時数	246	